

2019年度第一回 JICA インターンシップ・プログラム 本部ポスト一覧

登録番号	担当部署	募集人数	テーマ
1901-本01	地球環境部 防災グループ	1	仙台防災枠組の実施及び防災の主流化の促進に関する取りまとめ及び分析・考察
1901-本02	国内事業部 研修企画課	1	研修員受入事業における広報素材の作成等の補佐業務
1901-本03	産業開発・公共政策部 資源・エネルギーグループ	2	電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集/同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務
1901-本04	産業開発・公共政策部 民間セクターグループ第一チーム	3	開発途上国産品の販路拡大・輸入支援（逆越境EC支援）
1901-本05	産業開発・公共政策部 民間セクターグループ第二チーム	1	第7回アフリカ開発会議（TICAD）サイドイベントの企画運営補助、イノベーションに関する情報収集・整備
1901-本06	産業開発・公共政策部 民間セクターグループ第二チーム	1	国内外におけるSDGsの達成に資する観光開発に関する情報収集・発信及び新たな取組の検討・提案
1901-本07	人間開発部 基礎教育グループ	1	基礎教育分野における広報強化支援・ナレッジマネジメント
1901-本08	人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等・技術教育チーム	1	高等・技術教育分野における広報強化支援および動向調査
1901-本09	人間開発部 高等教育・社会保障グループ 社会保障チーム	1	「障害と開発」及び児童労働分野の取り組みに関する広報業務、情報収集やデータ集計の業務補佐を行う。
1901-本10	社会基盤・平和構築部 運輸交通・情報通信グループ第一チーム	1	「道路アセットマネジメント」の実施に係るJICAプラットフォームの支援業務
1901-本11	社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ第二チーム	2	都市開発、回廊開発に係る「TICAD 7（アフリカ開発会議）」関連業務
1901-本12	社会基盤・平和構築部 平和構築・復興支援室	2	平和構築室の対外発信（TICAD7サイドイベント等）及び関連事業に関する業務補助
1901-本13	評価部 事業評価第二課	1	事業評価（教訓情報の整備）
1901-本14	国際協力人材部 人材養成課	2	国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」関連イベント、広報業務補佐
1901-本15	青年海外協力隊事務局 企画業務課	1	「スポーツと開発」関連業務補助（青年海外協力隊事務局 企画業務課）
1901-本16	青年海外協力隊事務局 課題業務・選考課	1	日本語教育分野ナレッジマネジメント支援及び同分野での広報アプローチ

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本01
■部署名/事務所名：	地球環境部	■募集人数（人）	1
■課名/プロジェクト名：	防災グループ		
■テーマ			
仙台防災枠組の実施及び防災の主流化の促進に関する取りまとめ及び分析・考察			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>2015年に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、今後の国際的な防災の指針である「仙台防災枠組2015-2030」が180以上の国連加盟国によって採択された。日本政府は同枠組採択の準備段階において、日本がこれまで行ってきた災害対策の経験や知見をインプットしており、その中の1つが「防災の主流化（①政府が防災を国の優先課題と位置づけ、②あらゆる開発政策・計画に防災の観点を導入し、③防災への投資を拡大すること）」である。</p> <p>日本政府は、仙台防災枠組の実施を推進し、防災先進国としての知見と技術を世界に共有しながら、各国における災害に強い社会の構築を支援することとしており、国際協力を実施するODA実施機関であるJICAに対する日本国内外からの期待は大きい。JICAは、開発途上国に対して、仙台防災枠組の実施や防災の主流化を推進するための協力を継続的に推進しており、国内外の関係者に対して広く周知する必要がある、その発信を強化しているところである。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1. JICAが実施してきた防災協力の実績取りまとめ、各種広報ツール作成等の業務補助を行う。</p> <p>2. 日本が実施してきた仙台防災枠組の実施、防災の主流化の事例の継続的なレビューを支援し、発信・共有に必要なツール・資料の作成を補助する。道路、橋梁、港湾、空港、鉄道、電力等、インフラ、教育、保健医療等の分野における防災の主流化事例を想定しており、上記以外の分野でも可（具体的なテーマはインターン勤務開始後に決定予定）。</p> <p>3. JICAが参加する国内外の防災関連イベントの準備作業（講演を行う場合の関連データの収集、資料の作成、展示物の作成等）を行う。</p>			
■参考情報			
<p>JICAの防災分野における取り組みについて https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/index.html</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
9月1日前後に開催される「防災の日」の関連イベントやJICAが行う研修員受入事業、招聘事業等への同行（東京近郊を想定）			
■受入時期・期間			
2019年7月中旬 から 9月中旬までの 2ヶ月程度			
調整可 理由：			
■希望する人材			
大学生・大学院生ともに可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
		円/日	円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項： (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本02
■部署名/事務所名：	国内事業部	■募集人数（人）	1
■課名/プロジェクト名：	研修企画課		
■テーマ 研修員受入事業における広報素材の作成等の補佐業務			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要 研修員受入事業は、JICAが実施している技術協力の主要なメニューの1つです。1つ1つの研修コースは、日本国内にある13のJICA国内拠点、国内の中央省庁、地方公共団体、NGO、大学、民間企業から協力を頂きながら実施しています。最近では、日本国内の地方創生・地域活性化を推進するにあたり、外国人材（外国人労働者を含む）の受入に対する関心が高まっています。 留学生を含む研修員受入事業では、開発途上国の政府職員や技術者が、日本の技術・知見だけでなく、その背景にある考え方、経験をより深く学ぶことができます。また、帰国した研修参加者が政府要人となり、その国の発展や日本との二国間関係の強化に貢献していることから、研修員受入事業は、日本を熟知し、日本人に親しみを持った外国人を輩出することから、JICA内外から重要な協力手法と考えられています。 国内事業部研修企画課では、開発途上国のニーズを把握して適切な研修コースを実施できるよう年度計画の策定を支援したり、研修実施に必要な制度設計全般を担当しています。また研修の成果を魅力的に広報できるような企画も求められています。			
■具体的なインターンシップ活動内容 ・研修員受入事業のウェブサイト、SNS等で、発信する広報素材の収集・作成補佐 ・研修員受入事業計画策定に係る業務補佐 ・各種制度設計のために必要な実績データの取りまとめ補佐 ・帰国研修員に関する実績・現況把握のために必要な情報収集 ※ 当課における上記補助業務に加えて、研修員受入事業や開発途上国の人材を日本で研修する類似事業にかかるテーマの自由研究を含めることも可能。			
■参考情報 JICAウェブサイト本邦研修： https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary.html JICA年報（2018年度版研修該当ページ）： https://www.jica.go.jp/about/report/2018/ku57pq00002cq9mx-att/J_30.pdf			
■参加（同行）可能な行事・視察等 東京近辺で行われる研修事業			
■受入時期・期間 2019年8月上旬 から 10月下旬までの 3ヶ月間程度（期間は応相談） 調整可 理由：			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等 <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無 無 特記事項： (取得期間 金額等)			
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本03
■部署名/事務所名:	産業開発・公共政策部	■募集人数(人)	2
■課名/プロジェクト名:	資源・エネルギーグループ		
■テーマ			
電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集/同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
<p>社会経済の発展に不可欠なエネルギー。持続的社会的の実現に向けて、安定的且つ低廉、環境負荷の低いエネルギーを途上国パートナーが如何に確保するか?国際社会は如何にそれを支援出来るのか?JICA資源・エネルギーグループ(資・EG)が考え続けている大きなテーマです。</p> <p>本インターンには、電力・エネルギー分野における国際協力に関して、本人の関心及び業務上の必要性を勘案の上でテーマを特定した上で、関連情報の収集・分析を行い、JICAスタッフ等とのディスカッションを通して報告書を取りまとめていただくことを想定しています。(テーマ例:再生可能エネルギー分野のドナー動向、各ドナーの電力セクター支援方針・戦略、日本のエネルギー・電力政策との比較、etc)</p> <p>また、資・EGが実施している電力・エネルギー分野での事業に関して、資料整理や簡易な文書作成、JICA内勉強会の運営補助等、補助的な業務を行うとともに、JICAが開発途上国の能力強化の一環として実施している各種研修への同行、関係者との打合せへの同席等を通じ、電力・エネルギー分野におけるJICA事業の全体像について理解を深められるよう配慮しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> 電力・エネルギー分野における国際協力等に関する情報収集・分析(インターネットでの公開情報、JICA資源・エネルギーグループが保有する各種資料、JICA図書館に所蔵の資料等) 上記収集情報の整理及び報告会でのプレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーションの実施。 上記収集情報に係るレポートの作成。 電力・エネルギー分野におけるJICA事業の実施に関する資料整理(JICA事業に係る広報資料の作成等を含む)等補助業務。 JICA内部での電力・エネルギー分野に関する勉強会及び各種会議の運営に係る補助業務。 本邦研修への同行及びJICA事業関係者との打合せへの同席。 『資源の絆』プログラムに関する実施補助。 			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
上記JICA研修での電力設備視察や各種会議、イベント等への同行等。			
■受入時期・期間			
2019年8月 から 2020年3月までの 1-3ヶ月間程度			
調整可 理由:			
■希望する人材			
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無			
無		特記事項: (取得期間 金額等)	
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本04
■部署名/事務所名：	産業開発・公共政策部	■募集人数（人）	3
■課名/プロジェクト名：	民間セクターグループ第一チーム		
■テーマ 開発途上国産品の販路拡大・輸入支援（逆越境EC支援）			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要 民間セクターグループ第一チームではアジア地域において開発途上国における産業振興や民間セクター振興に取り組んでいる。その一環として、途上国に所在する起業家やビジネス人材の育成を行っており、多くの零細企業や生産者は市場へのアクセスが限られているため、成長の機会を逸している。一方、昨今世界のEコマース市場は年々拡大しており、開発途上国の零細企業や生産者がEC市場を通じて世界のマーケットにアクセスする幅は広がってきている。こうした機会を捉えるべく、当グループでは主に日本人材開発センターが所在する国を中心に（ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア、モンゴル、キルギス共和国、ウズベキスタン）、開発途上国から日本へ輸入し販路拡大を支援する試みを始めている。またECのみならず、毎年3月に東京で開催されるアジア最大級の食品・飲料専門展示会Foodexへの出展を通じての支援も取り組んでいる。こうした取組みを推進するにはJICA以外の様々なアクターとの協働が必要であり、同取組みを加速するために本インターンを募集する。			
■具体的なインターンシップ活動内容 パイロット国として、カンボジア、モンゴルについて以下のような活動を推進することを想定（インターン自身の関心や専門性により変更することも可能。またインターンからの本目的に沿った提案も歓迎）。 ・日本人材開発センターの現地専門家と連携し、逆越境EC支援に向けた支援先企業の情報収集や選定、サービス内容の検討を行う ・日本のECプラットフォーム企業や流通会社でフェアトレードやエシカル商品の推進に関心を持っている団体との連携・協働可能性をヒアリング等を通じて検討する ・食品や食品加工物の輸入に関する規制の調査を行い、同分野のパイロット国からの輸入促進のための施策検討を行う。2020年3月のFoodexへの出展説明会や出店推進に向けた取組みの検討を行う ・EC市場における商品の取扱いだけでなく、対象国への観光旅行やボランティア活動と連携したロイヤリティ向上に係る施策を検討する。			
■参考情報			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
■受入時期・期間 2019年7月中旬 から 10月 までの 3ヶ月間程度 調整可 理由：			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	Eコマース市場に係る業務や調査経験		
望ましい	食品輸出入業務や調査経験（1名）		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
		円/日	円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項： （取得期間 金額等）		
■備考・留意点 パイロット国への出張を依頼する可能性があります（最長1週間程度）			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本05
■部署名/事務所名:	産業開発・公共政策部	■募集人数(人)	1
■課名/プロジェクト名:	民間セクターグループ第二チーム		
■テーマ 第7回アフリカ開発会議(TICAD) サイドイベントの企画運営補助、イノベーションに関する情報収集・整備			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要 生産性向上と産業競争力強化は、経済構造転換を進めるアフリカ大陸共通の課題です。JICAはこれまで同地域の30か国以上に対して、日本の製造業を中心に発達した品質・生産性向上の手法である「カイゼン」を用いた協力を実施しています。2016年8月にケニアで開催された第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)にて、日本政府はカイゼンをアフリカ全体に広めることを表明しました。これを受けJICAは、アフリカ連合の一機関であるNEPADと「アフリカ・カイゼン・イニシアティブ」に関する合意文書を締結し、大陸横断的に知見共有やネットワーク形成を行ってきています。本年8月に開催されるTICAD VIIに際しては、これまでの協力の実績をふまえ、カイゼンが経済構造の転換に果たす役割、また成長を加速化させる「急進的イノベーション」との関係性を明らかにするべく、有識者を招いたサイドイベントを開催予定です。			
■具体的なインターンシップ活動内容 本インターンでは、サイドイベントに関して以下の企画運營業務の補助を予定しています。 1. 開催前: 関係者との連絡調整、事前広報、参加者登録、資料準備、各種問い合わせ対応 2. 当日: 設営、登壇者誘導、受付、記録、イベント進行 3. 開催後: アンケート取りまとめ、報告書作成、事後広報(HP記事作成など) 加えて、開発途上国におけるイノベーション推進のため、文献調査や関連する日本企業の動向に関する情報収集・整備、民間連携推進のための提言などを行っていただく予定です。			
■参考情報 カイゼンの「これから」を議論する「アフリカカイゼン年次会合」を開催 https://www.jica.go.jp/information/seminar/2018/20180704_01.html アフリカに広がる日本流の「カイゼン」: ハンドブック完成間近! https://www.jica.go.jp/topics/2018/20180531_01.html カイゼンハンドブック(日本版) https://www.jica.go.jp/information/seminar/2018/ku57pq00002b4b37-att/20180704_01_19.pdf 民間セクターグループの取り組み(民間企業向け課題発信セミナー資料) https://www.jica.go.jp/priv_partner/information/2018/ku57pq00002aw02r-att/1121_event-2.pdf			
■参加(同行)可能な行事・視察等 ・TICAD VIIに際して開催するサイドイベント運営への参加 ・関連する視察・面談への同行			
■受入時期・期間 2019年8月 から 9月 までの 2ヶ月間程度 調整不可 理由: 8月下旬に開催されるTICAD VIIのサイドイベントにかかる業務を想定しているため			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
必須	英語の高いコミュニケーション能力(TOEIC 730点以上)を有すること		
望ましい	産業開発や中小企業振興を専攻していること		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無			
無	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本06
■部署名/事務所名：	産業開発・公共政策部	■募集人数（人）	1
■課名/プロジェクト名：	民間セクターグループ第二チーム		
■テーマ			
国内外におけるSDGsの達成に資する観光開発に関する情報収集・発信及び新たな取組の検討・提案			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>観光産業は、「21世紀最大の成長産業」と言われており、この成長は今後も続く予測されています。特に開発途上国への観光客数は急速に増加しており、開発途上国において外貨の獲得や雇用創出の手段として観光産業が重視されています。一方、観光は、過剰な観光客の流入による自然・文化遺産の破壊、交通渋滞、ごみの増加などの「負のインパクト」も地域にもたらす可能性を秘めており、適切な観光地運営、持続可能な観光開発の推進が課題となっています。これを受けてJICAはUNWTO（国連世界観光機関）と協力協定を締結し、「持続可能な開発目標（SDGs）」に達成に資する観光開発のあり方について調査・研究を行い、観光によるSDGsへの貢献度を図るための指標づくりを行っています。</p> <p>上記の背景を踏まえ、本インターンシップでは、SDGsの達成に資する国内外の観光開発事例、加えて最新のテクノロジー等を活用したイノベティブな観光開発事例について情報収集を行うと共に、今後のJICAによる観光開発協力における新たな取組の可能性について、JICA職員と協力して検討・提案し、アイデアの実現に向けた活動を行うものです。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のSDGsの達成に資する観光開発に関する事例収集 ・最新のデジタル技術・テクノロジー（AI、IoT、ドローン等）を活用した国際機関や民間企業、地方自治体、NPO/NGOの観光開発事例収集 ・国内外のイノベティブな観光開発に関する取り組み事例の収集 ・新たな取組に関する検討・提案及び関係者との意見交換（外部機関・企業も含む） ・その他、上記の活動を踏まえた上での必要な活動 			
■参考情報			
Mundi2018年7月号 特集「観光と開発」 https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1807/index.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
2019年8月 から 10月 までの 2-3ヶ月間程度			
調整可 理由：			
■希望する人材			
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	英語の高いコミュニケーション能力（TOEIC 730点以上）を有すること		
望ましい	観光分野を専攻していること		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）			■宿泊費
円/日			円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項： (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本07
■部署名/事務所名:	人間開発部	■募集人数(人)	1
■課名/プロジェクト名:	基礎教育グループ		
■テーマ			
基礎教育分野における広報強化支援・ナレッジマネジメント			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
<p>JICAは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するため、教育分野では(1)子どもの学びの改善、(2)科学技術イノベーション・産業発展を担う人材の育成、(3)インクルーシブで平和な社会づくりを支える教育の3つを重点分野として取り組んでいます。また、教育協力に関する知見や経験を事業に活かし、発信するため、①戦略(事業戦略、ドナー連携等)、②ナレッジの創造(プロジェクト研究、インパクト評価等)、③ナレッジの共有(民間・大学とのネットワーキング)、④広報(ナレッジの蓄積・発信)等の活動を実施しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>インターンの受け入れ時期・期間及び関心を踏まえ、以下の両方あるいはいずれかの業務を実施していただきます。</p> <p>(1) プロジェクト業務補助・広報資料の作成 JICAの基礎教育分野のプロジェクトを一つ選び、担当者の業務補助及び広報資料を作成していただきます。</p> <p>(2) ナレッジマネジメント活動 ①就学前教育、②非認知スキル向上のための取り組み(特別活動など)、③ICTを用いた教育、④民間企業との連携、⑤インパクト評価、⑥アフリカの基礎教育開発などから一つのテーマを選び、国際機関の動向調査、JICAによる新しい協力の可能性の検討、資料の作成、イベントの開催支援などを行っていただきます。</p> <p>この過程で、JICA職員や専門家と議論する機会や国内で実施している会議、勉強会、セミナー等にもご参加頂くことを想定しています。</p>			
■参考情報			
<p>JICA教育セクターサイト https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
<p>2019年7月中旬 から 2020年3月までの 1ヶ月間程度</p> <p>調整可 理由:</p>			
■希望する人材			
<p>大学生・大学院生・社会人全て可</p>			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	基礎教育開発に関連する学科・研究科に所属あるいは論文を執筆する予定であることが望ましい。		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)			■宿泊費
円/日			円/泊
■査証必要の有無			
有	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本08
■部署名/事務所名：	人間開発部	■募集人数（人）	1
■課名/プロジェクト名：	高等教育・社会保障グループ 高等・技術教育チーム		
■テーマ 高等・技術教育分野における広報強化支援および動向調査			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要 高等・技術教育チームにて、高等・技術教育分野の取り組みに関する広報業務や、高等・技術教育分野に関する国際機関等の動向調査、情報の収集・分析の業務を補佐していただきます。			
■具体的なインターンシップ活動内容 インターンの受け入れ時期・期間及び関心を踏まえ、以下の両方あるいはいずれかの業務を実施していただきます。 (1) 高等・技術教育セクター広報資料の作成 JICAの高等・技術教育分野の全体動向およびプロジェクトを一つ選び、担当者の業務補助及び広報資料を作成していただきます。 (2) セクター横断的な高等・技術教育分野の業務にかかる情報収集と分析、資料作成補助 ①民間企業との連携、②大学間ネットワーク、③大学学務支援、④外部資金、⑤技術教育などから一つのテーマを選び、国際機関の動向調査、JICAによる新しい協力の可能性の検討、資料の作成などを行っていただきます。 この過程で、JICA職員や専門家との打ち合わせや国内で実施している会議、勉強会、セミナー等にもご参加頂くことを想定しています。			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等 高等・技術教育分野のプロジェクトカウンターパートを対象とした研修への同行および聴講			
■受入時期・期間 2019年10月 から 2020年2月 までの 1ヶ月間程度 調整可 理由：			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	英語 TOEIC730点以上		
望ましい	教育分野に関する基礎的な知識		
■提供可能な執務環境等			
<input type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
		円/日	円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項： (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本09
■部署名/事務所名:	人間開発部	■募集人数(人)	1
■課名/プロジェクト名:	高等教育・社会保障グループ 社会保障チーム		
■テーマ			
「障害と開発」及び児童労働分野の取り組みに関する広報業務、情報収集やデータ集計の業務補佐を行う。			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
社会保障チームにて、「障害と開発」及び児童労働分野の取り組みに関する広報業務や、「障害と開発」に関する課題別研修関連活動の実施、また障害主流化及び児童労働に関する情報の収集・分析の業務を補佐する。			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1. 就業体験</p> <p>(1) 広報業務の補助: 「障害と開発」分野のウェブサイト改訂にかかる情報収集と改訂(案)の作成 児童労働分野の取り組みに関する情報発信等</p> <p>(2) 「障害と開発」に関連する課題別研修関連活動の補助: 研修同行、広報、イベント実施など。</p> <p>(3) 「障害と開発」に関連する実績データ(2017年度~2018年度)の抽出作業</p> <p>(4) 児童労働分野の取り組みに関する情報収集と分析</p> <p>2. 課題別研修の現場における活動体験・補助</p> <p>(1) 課題別研修「地域活動としての知的・発達障害者支援」等の実施補助 (インターンの時期により研修は異なります。)</p> <p>3. セクター横断的な障害主流化の業務にかかる情報収集と分析、資料作成補助</p> <p>(1) 他セクター案件の審査調書にかかる障害配慮コメントの情報収集と分析</p> <p>(2) 障害配慮コメント作成要領(案)の作成補助</p> <p>(3) 児童労働分野の取り組みに関する情報収集と分析</p>			
■参考情報			
社会保障分野の取組のURL: https://www.jica.go.jp/activities/issues/social_sec/index.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
課題別研修「地域活動としての知的・発達障害者支援」(JICA東京) 具体的な同行時期:2020年2月末(予定) ※この他、随時検討可能。			
■受入時期・期間			
2019年8月 から 2020年3月 までの 1-3ヶ月間程度 調整可 理由:特になし			
■希望する人材			
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	英語 TOEIC730点以上		
望ましい	社会福祉に関する基礎的な知識		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
・その他(提供可能な事項):			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
0円/日		0円/泊	
■査証必要の有無			
無	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			
なお、障害により合理的な配慮をご希望される方は、応募時に必要な合理的配慮の内容をお知らせください。			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本10
■部署名/事務所名:	社会基盤・平和構築部	■募集人数(人)	1
■課名/プロジェクト名:	運輸交通・情報通信グループ第一チーム		
■テーマ			
「道路アセットマネジメント」の実施に係るJICAプラットフォームの支援業務			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
<p>アジア・大洋州地域の開発途上国では2030年までに約26兆ドルのインフラ需要があると試算されている。一方で、2020年代後半には、開発途上国でも日本同様に供用開始後50年を経過するインフラが増え、1970年代以降我が国が支援してきた道路、橋梁インフラも高齢化を迎える。将来、必要となる膨大な維持管理・更新費用が各国の国家財政に多大な負担となることは必至であり、その負担を可能な限り低減させるために道路アセットマネジメントを定着させることは重要である。</p> <p>JICAでは毎年約20ヶ国で道路インフラの維持管理能力強化に関する技術協力プロジェクトを実施し、開発途上国の道路行政人材の育成を展開している。2017年10月に立上げた道路アセットマネジメントプラットフォームは、国内最先端の取組から地方自治体の取組までを一元的に網羅し、開発途上国の課題へ柔軟に対応すべく、技術協力プロジェクトや研修事業を組み合わせたプログラムのアプローチによる効率的・効果的な支援の実施を目指している。長期研修では、国内の大学院を活用し、道路アセットマネジメントの定着に向けた役割を担う中核人材を育成することが期待されている。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>「道路アセットマネジメントプラットフォーム」の業務補助を行っていただきます。具体的には同プラットフォームの下で実施するJICA長期研修員(留学生)向けセミナーの開催支援業務です。</p> <p>- 土木学会・UNCRD共催留学生セミナーの開催支援:</p> <p>2020年3月上中旬頃に土木学会、UNCRD(国際連合地域開発センター)との共催によりJICA道路アセットマネジメントの長期研修員(留学生)及び土木学会留学生グループ向けに開発教育セミナーを開催します。セミナーではUNCRDによる「地域開発を通じたSDGsの達成と持続可能な社会の実現」に向けたワークショップの他に、土木学会国際センター関係者と留学生向けセミナー内容の検討を実施してもらう予定です。土木学会関係者やUNCRD関係者とともプログラム内容の検討や日程調整、参加者取り纏め、会場準備、セミナー運営・開催支援等を行っていただきます。</p>			
■参考情報			
<p>① Mundi 2018年11月号 (https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1811/ku57pq00002e9t2e-att/07.pdf)</p> <p>② 土木学会との覚書締結 (https://www.jica.go.jp/press/2018/20190306_01.html)</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
- 土木学会・UNCRD共催「留学生セミナー」			
■受入時期・期間			
2020年1月 から 2022年3月までの 2-3ヶ月間程度			
調整不可 理由: 上記セミナーが3月に実施予定であり、その準備に向けた調整が必要なため。			
■希望する人材			
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	土木工学に関する基礎知識を有すること(学部・院での専攻を修了していればなお望ましい)		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無			
無	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			
必要に応じて国内出張が予定されます。			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本11
■部署名/事務所名：	社会基盤・平和構築部	■募集人数（人）	2
■課名/プロジェクト名：	都市・地域開発グループ第二チーム		
■テーマ 都市開発、回廊開発に係る「TICAD 7（アフリカ開発会議）」関連業務			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要 アフリカの都市人口は2040年には10億人に急増し、いわゆる「メガシティ（1000万人超）」も従来の3都市から6都市へと倍増する見込み。他方、都市への人口一極集中は、基礎インフラ・公共サービス（交通、上下水道・廃棄物管理等）の不足等、居住環境面の問題を招いている。今次TICAD7で、JICAはSDGsで重視される「持続可能な都市」の実現をテーマとするイベントを開催し、その課題と対策の協議を通じてアフリカ諸国及びドナーのコミットメントを再確認するとともに、メガシティにおける都市管理を可能とするマスタープラン策定とその実現に向けた一層の連携強化に取り組む方針。また、コネクティビティ（連結性）向上の観点においては、JICAはTICAD5よりアフリカの域内をつなぐ経済回廊にかかるマスタープランの策定とその開発促進を表明しており、TICAD6では特にその内3回廊を日本の対アフリカ支援の重点地域として位置付けた。今次TICAD7では、イベントの開催を通じて、これらの3地域における回廊整備のマスタープランの成果を発信するとともに、その具現化に向けたアフリカ諸国及び関連ドナーとの連携を促進する方針。			
■具体的なインターンシップ活動内容 このインターンシップでは、8月末に開催される「TICAD 7（アフリカ開発会議）」におけるイベント開催にかかる業務補助を行っていただきます。都市・地域開発グループでは、TICAD7において、質の高いインフラ整備、アフリカにおけるコネクティビティ（インフラの連結性）向上、アフリカにおける持続可能な都市の実現等にかかるイベントを開催予定です。インターンシップ中の具体的な活動としては、イベントのプログラム検討、日程調整、出席者のとりまとめ（アフリカ各国の要人含む）、会場設営、当日の運営・開催支援等を行っていただきます。また、これらのイベントは関係するアフリカ各国からの要人招待のアレンジのみならず、日本の省庁や世界銀行等の国際機関との連携・調整業務も含まれますので、国際会議の運営にかかる業務に幅広く触れていただける予定です。あわせて、TICAD7開催後は都市開発分野等のプロジェクトの具体化に係る関連業務（要望調査のとりまとめ補助等含む）を行っていただく予定です。			
■参考情報 ①外務省サイト（TICAD7） https://www.mofa.go.jp/mofaj/afr/af2/page1w_000185.html ②JICA 都市・地域開発ページ https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/index.html			
■参加（同行）可能な行事・視察等 TICAD7 当部関連イベントへの参加			
■受入時期・期間 2019年7月中旬 から2ヶ月間程度 調整可 理由：TICAD7の開催時期の8月は必須。その前後に関しては調整可能。			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等 <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
		円/日	円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項： (取得期間 金額等)		
■備考・留意点 必要に応じて国内出張が予定されます。			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本12
■部署名/事務所名：	社会基盤・平和構築部 平和構築・復興支援室	■募集人数（人）	2
■課名/プロジェクト名：	平和構築支援の対外発信（TICAD7対応）ほか		
■テーマ 平和構築室の対外発信（TICAD7サイドイベント等）及び関連事業に関する業務補助			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要 1. 対外発信業務補助 平和構築・復興支援室が事務局を務めるTICAD7平和と安定タスクフォースは、JICAの平和構築支援の好例とアプローチをTICAD7参加国・機関に広く発信し、賛同・共感を得てメインストリーム化することを目的とし、8月末（TICAD7期間中）に①人道と開発と平和のネクサス、②政府と住民間の信頼関係の醸成、の2件のサイドイベントを実施予定である。担当職員を補助し、共催機関や登壇者との協議・調整、イベントの計画、準備、当日の実施運営を行う。 2. 関連事業業務補助 平和構築・復興支援室の日常業務について、担当職員を補助し、情報収集・整理、資料作成、会議準備や記録等を行う。			
■具体的なインターンシップ活動内容 TICAD7サイドイベントの企画・準備・運営、及び平和構築事業に関連する業務を担当職員とともに進行。想定する業務項目は以下のとおり。 (1) サイドイベント関連 ・ アフリカ部、委託先及びJICA内関係部署との連絡調整 ・ 共催機関との連絡調整（①についてUNHCRとAUを想定） ・ 外部登壇者との連絡調整 ・ JICA登壇者の発表資料等の確認 ・ その他の配布資料等の作成・取りまとめ ・ 事前勉強会やブリーフィングの企画と実施 ・ 当日の受付等の運営補助 ・ 議事録の確認 (2) 事業関連 ・ 要望調査関連の情報収集・整理・分析 ・ 実施中案件の報告会の開催・記録 ・ ニュースレターの制作 ・ その他平和構築・復興支援室関連業務			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入時期・期間 2019年7月中旬 から 9月下旬までの 2ヶ月間程度 （8月は必須） 調整可 理由：			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等 <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）：			
■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無			
無		特記事項： (取得期間 金額等)	
■備考・留意点			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本13	
■部署名/事務所名:	評価部	■募集人数(人)	1	
■課名/プロジェクト名:	事業評価第二課			
■テーマ 事業評価(教訓情報の整備)				
■テーマ(プロジェクトなど)の概要 JICAの事業評価は、過去に実施した事業から得られる学びを通して事業のさらなる改善を図る(学習と改善)とともに日本国民や相手国関係者等に事業評価の結果を適時に公開すること(説明責任)を目的としている。特に、「評価による事業の改善」については、途上国の現場における多様な事業経験を通じて蓄積された教訓を活用・反映し、途上国の複雑かつ困難な開発課題の解決に向けたより効果的な事業を実施していくことが重要である。こうした認識のもと、評価部ではこれまで事業評価制度の拡充・強化を図るとともに、様々な分野課題に関する教訓を整理・分析して実用性・汎用性の高いナレッジ(知識)として取りまとめ、評価結果の事業へのフィードバックを推進している。 今回の活動は、実施済の事後評価(技術協力、有償資金協力、無償資金協力)について評価報告書に記載されている教訓を分類・整理し、JICAにおける教訓活用を促進することを目的としている。				
■具体的なインターンシップ活動内容 ①事後評価の教訓データベース/一覧表作成 実施中あるいは新たな類似事業における評価結果の活用・反映を促進するため、事後評価報告書に記載されている教訓について、評価部の基準に沿って分類・整理し、データベースまたは一覧表に取りまとめる。対象件数は700-800件程度、対象セクターは、農業、電力、保健、ガバナンス、教育等を予定している。 ②その他 事業評価に関する各種業務(部内資料の作成補助等)。				
■参考情報 ・JICA事業評価の概要 https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/ku57pq00000ln698-att/development_evaluation.pdf ・JICA事業評価年次報告書2018 https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/general_new/2018/index.html ・開発課題別の指標・教訓レファレンス https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/indicators/index.html				
■参加(同行)可能な行事・視察等				
■受入時期・期間 2019年7月中旬 から 9月下旬 までの 1-2ヶ月間程度 調整可 理由:				
■希望する人材 大学院生				
■応募資格以外に受入れに関し求める要件				
必須	国際協力全般あるいは上記「活動内容」①に記載したセクターに関連する知識			
必須	エクセルあるいはデータベースソフトが活用できること			
■提供可能な執務環境等				
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備	<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担			
その他(提供可能な事項):				
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費		
		円/日	円/泊	
■査証必要の有無				
無	特記事項: (取得期間 金額等)			
■備考・留意点				

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本14
■部署名/事務所名:	国際協力人材部	■募集人数(人)	2
■課名/プロジェクト名:	人材養成課		
■テーマ			
国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」関連イベント、広報業務補佐			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
<p>国際協力人材部人材養成課では、幅広い世代の方々に国際協力についての関心を喚起し、将来国際協力分野で活躍する人材を養成するため、国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」を運営しています。同サイトは2018年4月にリニューアルし、昨今国際協力分野においても人材不足が懸念されるなかで、国際(協力)キャリアに関心を寄せる若年層をユーザーとして取り込むことを方針に据えています。このメインターゲットを中心に、『学び』『つながり』『仕事』に関する様々な情報を届けるプラットフォームとして、ユーザーが将来の目標に向かって一歩踏み出すことを促すコンテンツの拡充、イベントの企画・運営を進めています。インターンには、各種イベント・セミナーの業務補佐や、PARTNERサイト拡充のための企画・運営・広報業務等を担当していただきます。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>以下の事業において、担当スタッフと共に、企画・運営・実施等を担当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若年層向け広報施策に係る情報収集・企画・実施。具体的には、PARTNERコンテンツの拡充、配布用チラシの作成。 2. 国際協力イベント(国際キャリアフォーラム、グローバルフェスタJAPAN2019、JOBセミナー)の企画・ブース運営。 3. PARTNERソーシャルメディアアカウント(Facebook)の発信補佐。 			
■参考情報			
国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」 (http://partner.jica.go.jp/)			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
国際協力人材部人材養成課が企画運営または参加する、国際協力に関する各種イベント、セミナー等 (開催日時がインターン期間に合致していることが条件)			
■受入時期・期間			
2019年8月上旬 から 2020年3月末までの 1ヶ月間程度			
調整可 理由:			
■希望する人材			
大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
円/日		円/泊	
■査証必要の有無			
無	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			
2名のインターンの活動期間が重ならないように調整を行う予定です。			

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本15	
■部署名/事務所名:	青年海外協力隊事務局	■募集人数(人)	1	
■課名/プロジェクト名:	企画業務課			
■テーマ				
「スポーツと開発」関連業務補助(青年海外協力隊事務局 企画業務課)				
■テーマ(プロジェクトなど)の概要				
<p>青年海外協力隊事務局 企画業務課は、JICAが行う「スポーツと開発」に関する業務の事務局を担当しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020」)実施を見据え、日本政府が推進するスポーツ・フォー・トゥモロー(以下「SFT」)プログラムの目標達成に向けて、JICA事業による貢献実績の取りまとめ・データ集計や、外部組織・JICA他部署と連携した会議の実施・運営等を行っています(2020年以降の「スポーツと開発」分野の取り組みに向けた検討も行います)。インターンの方にはこれらの業務の補助を行っていただく予定です。</p> <p>その他、当課が担当する業務(事業計画、事業評価に関する業務)の補助等をお願いする場合があります。</p>				
■具体的なインターンシップ活動内容				
<p>インターンシップ活動として、以下を想定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> SFTプログラムへのJICA事業による貢献実績の取りまとめ・データ集計 「スポーツと開発」に関する会議(TV会議含む)への出席、運営補助、資料等作成 東京2020及び2020以降に向けた「スポーツと開発」にイベントや広報等の企画 その他、企画業務課が行う業務(海外協力隊事業評価に関する取りまとめ・データ集計)の補助 				
■参考情報				
<p>JICAボランティア事業について https://www.jica.go.jp/activities/schemes/volunteer/index.html 広報誌mundiスポーツ特集 https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1806/ku57pq000029gynt-att/02.pdf</p>				
■参加(同行)可能な行事・視察等				
「スポーツと開発」協力構想会議、実務者会議等(いずれもJICA内の会議)				
■受入時期・期間				
<p>2019年9月 から 2020年3月までの 1-2ヶ月間程度</p> <p>調整可 理由: 週2-3日程度の勤務の場合、受入期間を2ヶ月程度とすることが可能</p>				
■希望する人材				
大学生・大学院生・社会人全て可				
■応募資格以外に受入れに関し求める要件				
必須	Word, Excel, Powerpointの基本的操作レベル			
望ましい	TOEICスコア630程度の英語スキル			
■提供可能な執務環境等				
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備	<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担			
その他(提供可能な事項): _____				
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費		
円/日		円/泊		
■査証必要の有無				
無	特記事項: (取得期間 金額等)			
■備考・留意点				

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1901-本16
■部署名/事務所名:	青年海外協力隊事務局	■募集人数(人)	1
■課名/プロジェクト名:	課題業務・選考課/日本語教育分野支援		
■テーマ 日本語教育分野ナレッジマネジメント支援及び同分野での広報アプローチ			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要 JICAでは青年海外協力隊などのJICA海外協力隊を開発途上国に派遣しており、日本語教育についても、これまで累計3,228名の隊員を70ヶ国に派遣している。国内でも、留学生や外国人労働者の増加により、日本語教育への重要性が高まっており、国会でも「日本語教育に関する法律」について議員立法の動きなどがある。 JICAにおける、日本語教育についてのナレッジマネジメントについては青年海外協力隊事務局が主管部署となっており、現在、日本語教育についての今後の取り組み指針の策定等を検討しているところである。また、発展途上国からの日本語教育隊員の要請数は増加傾向で、応募者増加のための広報、応募勧奨活動が重要となっている。 【参考情報】 ●日本語教育海外協力隊派遣中人数(2019年2月末現在) 青年海外協力隊 61 シニア海外ボランティア 28 日系社会青年ボランティア 42 日系社会シニアボランティア 12 合計143名 ●派遣国: ブラジル、ベトナム、中華人民共和国、インド、パラグアイ、アルゼンチン等(派遣中39ヶ国)			
■具体的なインターンシップ活動内容 日本語教育分野のJICA海外協力隊の応募者増加のための広報素材の作成や、日本語教育応募関心層を対象とした説明会の開催等について、企画・運営を職員と協力して実施する。日本語教育ナレッジマネジメントについて、既存資料の整理や指針の作成についても支援する。			
■参考情報 JICAボランティア事業について https://www.jica.go.jp/activities/schemes/volunteer/index.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等 国内でのJICA海外協力隊の募集説明会等への参加			
■受入時期・期間 2019年8月 から 2019年10月までの 1-2ヶ月間程度 調整可 理由:			
■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可			
■応募資格以外に受入れに関し求める要件			
望ましい	日本語教育に関する知識・経験		
■提供可能な執務環境等			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項): _____			
■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)		■宿泊費	
		円/日	円/泊
■査証必要の有無			
無	特記事項: (取得期間 金額等)		
■備考・留意点			